

第2回 市民ワークショップ ＜説明資料＞

～公共施設等総合管理計画について～

CONTENTS

－目次－

- | | | |
|----|-------------------------|---|
| 1. | 第1回ワークショップの内容について(おさらい) | 1 |
| 2. | 第1回ワークショップでいただいたご意見について | 2 |
| 3. | 市民ワークショップの内容変更について | 5 |
| 4. | 第2回市民ワークショップについて | 6 |
| 5. | 市民ワークショップの進め方 | 8 |

平成28年10月～11月

第1回ワークショップの内容について(おさらい)

草加市公共施設に関する市民ワークショップ かわら版

発行：草加市総合政策部資産活用課 / 2016年10月 / 第1号

- 今後、少子高齢化が進行し、超高齢社会・人口減少社会の到来が現実のものとなろうとしている現在、草加市でも公共施設をどのように保有し、維持管理していくのか、また、公共施設を利用してどのような公共サービスを提供していくのかを考える必要性に迫られています。
- こうした状況のなか、昨年度、役所内部で検討を重ね「草加市公共施設等総合管理計画」を策定しています。今年度は計画に市民の方からの視点を加え、内容を充実していくため、地区ごとに3回の市民ワークショップを開催します。

第1回市民ワークショップを開催しました。

多くの方にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。

- 第1回ワークショップでは、昨年度、行政側の視点で作成した「草加市公共施設等総合管理計画」で位置づけた公共施設の維持管理に向けた6つの方針について話し合いました。
- 地区ごとの第1回ワークショップの参加者は以下のとおりです。

日時	場所	対象地区	参加者数
9/14 (水) 19~21時	柳川文化センター	新田東部	43人
		草加川柳	
		草加稲荷	
9/15 (木) 19~21時	勤労福祉会館	新田西部	18人
		草加安行	
9/26 (月) 19~21時	瀬崎コミュニティセンター	草加東部	22人
		谷塚東部	
9/29 (木) 19~21時	谷塚文化センター	草加西部	21人
		谷塚西部	
		谷塚中央	



第1回市民ワークショップではこんなことを話し合いました。

- 第1回ワークショップでは、草加市の人口や世帯、財政などの将来推計、公共施設の状況、公共施設に関する市民アンケートの結果などについて説明した後、6つの方針について「良い点」と「追加・改善したい点」について話し合いを行いました。

①公共施設の保有総量の適正化

あまり使われていない施設は積極的に集約・複合化や廃止を進め、市の公共施設保有総量を適正にします。

②新たな公共施設の建設は既存施設のスクラップ&ビルドを条件

公共施設の保有総量を適正にするため、新しい公共施設をつくる場合には、同じような施設を複数廃止し、新しく建設する施設に集約することを条件。

③公共サービス内容の吟味と民間サービスの活用

行政が行うべき公共サービスと民間等にゆだねるべきサービスを仕分けして、さらなる官民連携を検討します。また、施設の利用料についても見直し、市民の負担を公平にします。

④「1施設・1機能」の縦割型サービスからの脱却

ひとつの施設に複数の機能を盛り込む「1施設・多機能」化を積極的に進めることで、施設を合理的に利用できるようにするとともに、機能どうしの連携などにより公共サービスの質を向上させます。

⑤フルセット配置から地域特性に応じた配置へ

10のコミュニティブロックでまったく同じように公共施設を配置する「フルセット配置」はもはや困難。地区のニーズを踏まえて必要な機能を誘導し、地区にとって使いやすい地区拠点の形成を目指します。

⑥「長寿命化」の推進によるコスト削減

施設の運営費や大規模な改修に係る費用をできるだけ少なくするため、計画的に補修を行い、安全性を確保しながら、できるだけ長く建物を使い続ける「長寿命化」を進めます。

※当日配布した資料は市ホームページの以下のアドレスにありますのでご興味のある方はぜひご覧ください。
<https://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1211/a03/a01/>

「良い点」では方針④の施設が多機能化による便利さの向上などへの期待が大きい

- 6つの方針の「良い点」については、特に方針④で、学校施設を中心に様々な機能を集約することで、施設の使い勝手が良くなったり、多世代交流が進んだりすることへの期待が多くなっています。
- 方針③については、民間活力を導入することで公共施設を使ってお金を稼ぐことができるという賛成の意見も出ています。

■良い点に関する主な意見

方針①	●人口減少が明らかなので適正化は進めるべき ●維持管理費を削減するために適正化は必要	方針④	●機能がまとまっていると利便性が高まる ●空き教室の利用による年齢を超えた交流が可能 ●学校の中に様々な機能をまとめるべき ●多機能化することでぎわいが創出される
方針②	●施設の「質」を上げるためであれば、スクラップ&ビルドは賛成	方針⑤	●フルセット配置はいろいろな、地域の特性に応じた配置にすべき
方針③	●民間資金を活用した施設づくりが期待できる ●開館時間やサービスなどの向上が期待できる ●財源確保のために利用者の負担を増やすべき ●利用料が安すぎると本当に必要な人が使えない恐れがある。利用料を適正に	方針⑥	●施設に愛着を持つことで長く使う ●長寿命化する施設としない施設を見極めることが必要

「追加・改善」については施設が集約された時の移動条件の悪化に対する懸念が多い

- 「追加や改善が必要だと思う点」に関する意見では、施設が集約された場合、施設までの距離が遠くなり、利用しにくくなることなどへの懸念が多く出されました。
- 方針①の公共施設の保有量の適正化に関して、「適正」な量をどう判断するのか、方針④の多機能化に関しては、学校に機能を集約した場合の安全性の確保に対する懸念があること、方針⑤に関して、地区のニーズをどう把握するのか、各地区のニーズに大きな違いはないのではないかという意見もありました。

■追加や改善が必要だと思う点に関する主な意見

方針①	●量の適正化は何を基準に適正化するのか ●ムダな施設を決めるのは難しい ●広域的な施設と地域単位の施設に分けて考えるべき	方針④	●学校に機能が集約されることによる児童・生徒の活動の制約や安全性の低下の懸念 ●多機能化により専門性が失われ、使いにくくなる恐れがある
方針②	●施設が遠くなることで交通の便が悪化する。移動への配慮が必要。 ●高齢者の利用が厳しくなるのでは	方針⑤	●地域間の施設格差の拡大 ●地域ニーズの把握方法をどうするのか ●身近な場所に気軽に集まれる場も必要。コミュニティの維持・向上に役立つ
方針③	●民間が運営することでサービスの低下が心配 ●民間では事故等の際の責任の所在などに不安 ●利用料が上がることで使いたい人が使えなくなる恐れがある。	方針⑥	●計画的な修繕の予算が確保できるのか ●長寿命化するコストとランニングコストのバランスを考える必要がある。

その他にこんな意見もありました。

- 財源が足りないなら、人口増加や企業誘致などに取り組み、税収を増やす方策を考えるべきではないか。
- コミュニティを維持・向上させるために施設のあり方を検討すべきではないか。
- コミュニティ施設などの運用の裁量権をもっと住民に委譲してほしい。
- 費用をかけずに施設を運用していくことについては住民でも考えていきたい。
- 行政ができないことを市民にもっと伝えてくれれば、住民でも自助・共助を考える。



※当日の会議で出された全意見をまとめた資料が市ホームページの以下のアドレスにあります。ご興味のある方はぜひご覧ください。
<https://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1211/a03/a01/>

第1回ワークショップでいただいたご意見について①

- ▶第1回ワークショップでは、様々なご意見が寄せられました。
- ▶寄せられたご意見については、「市民から寄せられた留意事項」として『公共施設等総合管理計画』に反映したいと考えております。
- ▶現在、その整理作業を進めております。
- ▶反映する内容については、次回の第3回ワークショップにてお示しする予定です。
- ▶本日は、主なご意見について、計画への掲載（案）の概要を紹介させていただきます。

	いただいたご意見	計画への掲載(案)
方針①	<ul style="list-style-type: none">●量の適正化は何を基準に適正化するのか。●ムダな施設を決めるのは難しい。●広域的な施設と地域単位の施設に分けて考えるべき。	<ul style="list-style-type: none">→量の適正化についての基準や考え方を定めるべき。→施設の用途に応じて、広域的や地域単位に分けて考えるべき。
方針②	<ul style="list-style-type: none">●施設が遠くなることで交通の便が悪化する。移動への配慮が必要。●高齢者の利用が厳しくなるのでは。	<ul style="list-style-type: none">→施設が遠くなることで、交通の便が悪化し、高齢者の利用が厳しくなることが懸念されるので、公共交通網の整備と関連して検討を行う必要がある。
方針③	<ul style="list-style-type: none">●民間が運営することでサービスの低下が心配。●民間では事故等の際の責任の所在などに不安。●利用料が上がることで使いたい人が使えなくなる恐れがある。	<ul style="list-style-type: none">→運営主体が変わることによる、サービス提供の質や、管理面から見た対応について懸念される。

第1回ワークショップでいただいたご意見について②

	いただいたご意見	計画への掲載(案)
方針④	<ul style="list-style-type: none"> ●学校に機能が集約されることによる児童・生徒の活動の制約や安全性の低下の懸念。 ●多機能化により専門性が失われ、使いにくくなる恐れがある。 	→従来、利用者が限定されていた施設(学校など)に、一般の利用者が入ることによる、児童・生徒の活動の制約や安全性の低下が懸念されるので、ハード、ソフトの両面で使いやすい施設を検討する必要がある。
方針⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●地域間の施設格差の拡大。 ●地域ニーズの把握方法をどうするのか。 ●身近な場所に気軽に集まれる場も必要。コミュニティの維持・向上に役立つ。 	<p>→地域特性に応じた配置は、地域間の格差が拡大してしまう懸念があるので、ニーズの把握は丁寧に行う必要がある。</p> <p>→身近な場所に気軽に集まれる場も必要であり、それはコミュニティの維持・向上に役立つものとなる。</p>
方針⑥	<ul style="list-style-type: none"> ●計画的な修繕の予算が確保できるのか。 ●長寿命化するコストとランニングコストのバランスを考える必要がある。 	<p>→市の予算が厳しい現状で、計画的な修繕の予算の確保が大切である。</p> <p>→長寿命化に当たっては、維持管理や改築のコストを比較し、バランスを考える必要がある。</p>
<p>全体を通じて、「個別の施設について、改築や統合・複合化を行う際は、市民や利用者の意見をしっかり聞きながら進めていく必要がある。」というのが共通したご意見として掲載したいと考えています。</p>		

➤いただいたご意見には、本計画には直接関連しない「まちづくり」に関するものもございます。

➤それらについても、貴重なご意見ですので、担当課へ伝える等の対応を取ってまいります。

第1回ワークショップでいただいたご意見について③

- ご意見の他に「質問」もいただいております。
- 質問についても、その整理作業を進めております。
- ご意見同様、次回のワークショップにてお示しします。
- 本日は、主なものについてお答えします。

質問の内容	市の考え方
●アンケート回答者の年代別傾向は。	●20代:16.0%、30代:15.2%、40代:14.8%、50代:12.8%、60代:13.8%、70歳以上:25.7%、無回答:2.9%です。
●基本方針はアンケート結果が反映されているのか。	●基本方針をお示したうえで、アンケートを行っていますので、反映されておりません。
●長寿命化によりコスト高になるのでは。	●長寿命化とは、適切に改修を行い施設を長く使うことで、トータルのコスト(ライフサイクルコスト)が安くなるという考え方です。
●インフラについてはどう考えているのか。	●インフラは、集約・複合化を行うことが難しいので、ライフサイクルコストの平準化を目指します。
●このWSの意見をどう反映するのか。	●「市民から寄せられた留意事項」として計画に掲載します。
●アンケート回答率の有効性に疑問あり。	●統計上では、回答数(標本数)400件以上で誤差が±5%の範囲に収まるとされています。

市民ワークショップの内容変更について

～市民ワークショップの主な話し合いの内容～

第1回
草加市の公共施設の現状と
課題について学ぼう！

第2回(10月下旬～11月上旬)
公共施設の機能などについて
考えよう！

今回は
コレ!!

第3回(12月～1月)
第2回の話し合いをふまえて、
公共施設の配置などを考えよう！

第1回目WSで多様な市民のご意見を伺う中で、このテーマは丁寧に議論する必要性を感じました。

そのため、3回目で「モデル的な配置案」の検討を行うよりも、基本方針に関連して具体的に掘り下げてご意見を伺いたいと考えました。

そこで、当初のプログラムを変更し、今回（第2回）は、**学校を例としたケーススタディ**を行うなかで、まずは施設の「使い方」について具体的に検討したいと考えました。

それを受け、（第3回）では、施設の「機能（教育機能・子育て機能など）」について掘り下げて議論していきます。

第2回市民ワークショップについて

□ 第2回ワークショップの前提条件(なぜ学校なのか)

小中学校の現状

- ・市内のどこからも歩いて行ける距離にある。
- ・敷地も建物も大きく多様な機能を有しており、潜在能力が高い。
- ・児童・生徒の数が減っており、余裕教室が生じることが想定させる。
- ・現在の建物を当面は使い続けていく必要がある。

- 市内の小中学校は耐震化済。
- 平成26年度にエアコンを設置済。
- 避難場所としての体育館の非構造部材の耐震化を実施中。
- トイレ改修を実施中。

第2回市民ワークショップについて

□テーマ：公共施設の機能について ～学校の有効活用を考える～

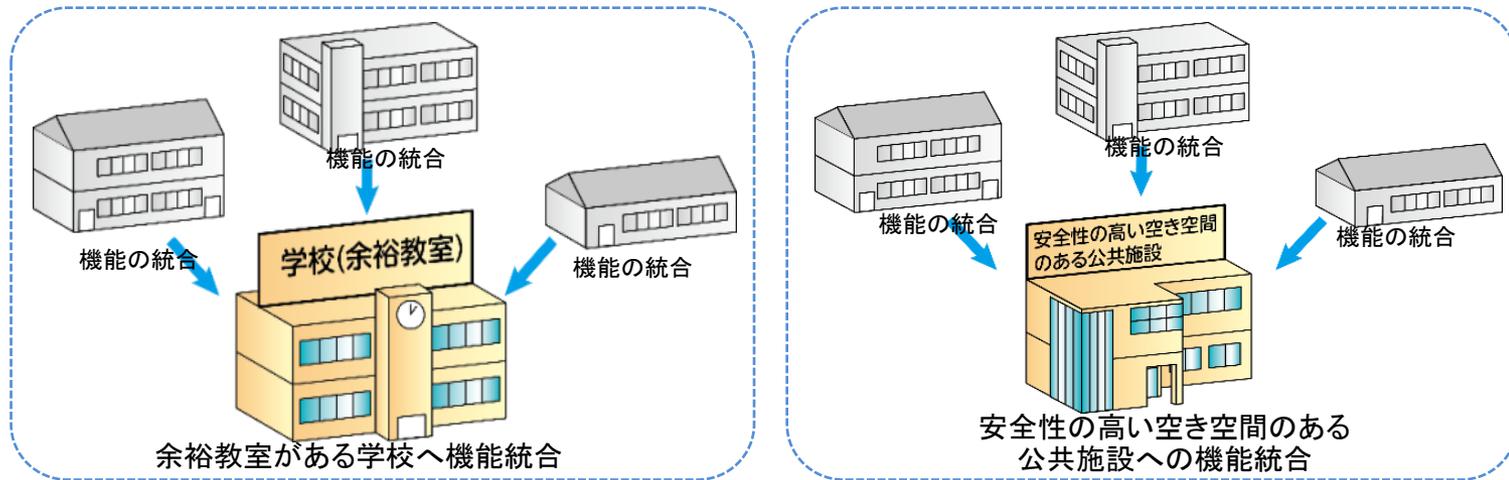
話し合いたいこと

- 小中学校を例として、敷地を含めた学校施設について、地域住民のみなさんにとって、どのような有効活用が可能か。
 - ・地域住民の立場や市民目線で、どのような使い方ができるか
 - ・学校施設の活用を通じて、コミュニティが活性化するアイデアは
 - ・学校施設の利用にあたって、どのような問題が考えられるか

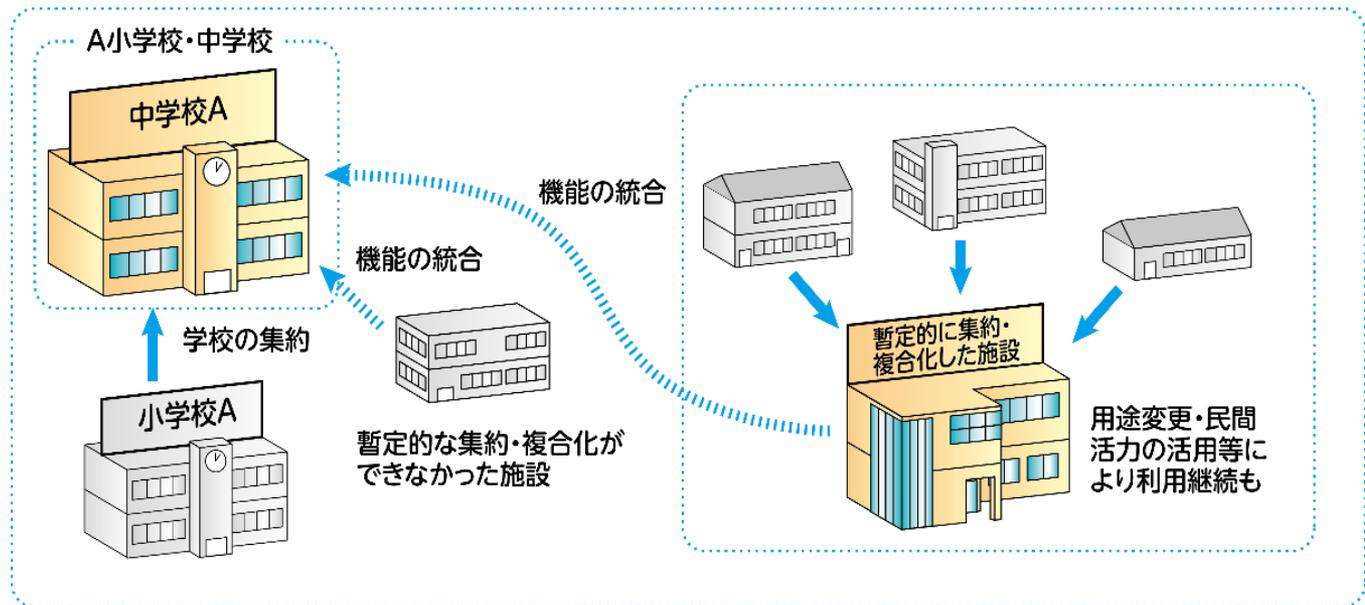
本日、皆様からいただいたご意見は、将来、学校を含めた公共施設を多機能化する際に役立てたいと考えております。

【参考資料】集約・複合化の実施プロセス

【ステップ1】機能統合の暫定的な実施



【ステップ2】学校教育施設の改修・更新に当たっての集約・複合化



草加市公共施設等総合管理計画

第2回 市民ワークショップ

<ワークショップの進め方>

2016年10～11月

本日の時間割

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 挨拶,趣旨説明等(10分) | 16:00~16:10 |
| 2. 資料説明(15分) | 16:10~16:25 |
| 3. 進め方の説明(10分) | 16:25~16:35 |
| 4. グループ討議(60分) | 16:35~17:35 |
| 5. 発表,全体討議 (20分) | 17:35~17:55 |
| 6. 連絡事項,閉会(5分) | 17:55~18:00 |

1 本日の目標

地域にある小中学校で

どんなことをしたいか、

どんなことができるか

また、地域の人が学校を利用するに

あたって

問題になりそうなこと、

について意見を出し合いましょう。

2 模造紙のとりまとめイメージ

一緒に実施することで、地域に
よい効果が生まれそうな組み合わせを、A,B,Cなどの記号で表しましょう

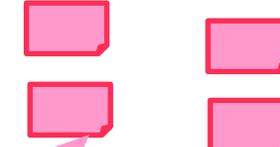
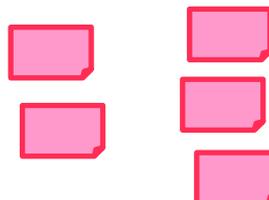
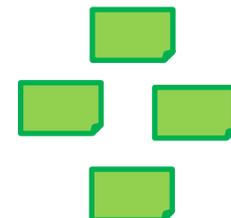
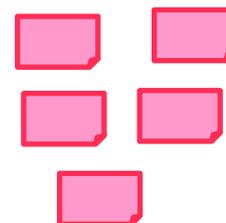
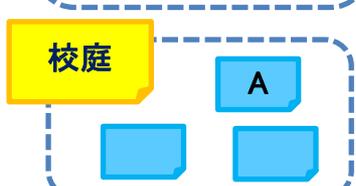
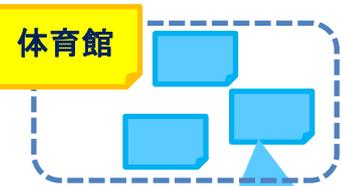
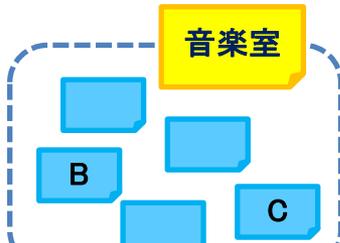
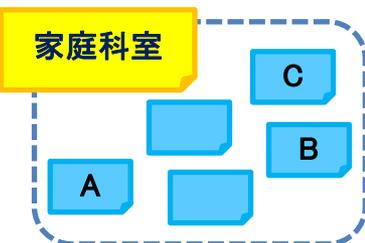
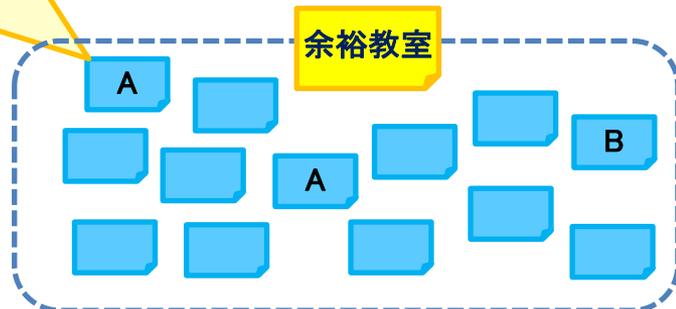
1班 参加者: ○○, ○○, ○○, ○○, ○○○

2016年11月12日 第2回市民WS

やりたいこと

問題になりそうなこと

地域でできること



青い付箋には
「やりたいこと」

ピンクの付箋には
学校を使うことで
「問題になりそうなこと」

緑の付箋には
問題解決のために
「地域でできること」

3 意見交換の進め方(1)

- 学校の施設を活用して、やりたいこと、できるといいことについて意見を出しあいましょう。
- やりたいこと、できるといいことは、「私にとって」、「●●な人にとって」、「地域にとって」など、様々な視点から考えてみましょう。

例1: 学校で本を借りたり、読書をしたい(図書室)

例2: 学校で小学生に昔の遊びを教えたい(余裕教室)

例3: 学校で高年者のお弁当づくりをしたい(家庭科室)

例4: 学校で趣味の踊りの発表会をしたい(体育館)

- さらに意見として出された「やりたいこと」の中から一緒に実施すると、地域によい効果が生まれそうな、相性のよい組み合わせを選んでみましょう。

【参考】 学校にある空間

■学校には以下のような空間があります。

これらを参考に普段、公民館などで行っていることを思い浮かべながら、「こんなことができるといいな」「こんなことができる地域が元気になるよね」など考えてみると、アイデアが出やすいかもしれません。

余裕教室	音楽室	視聴覚室	理科室
家庭科室 (調理)	被服室 (裁縫)	図工室	技術室
図書室	保健室	体育館	プール
運動場	校庭	その他	

3 意見交換の進め方(2)

- 地域の人が学校施設を利用する場合、どのような問題が起こるか、懸念されることを出しあいましょう。

例1: 学校に誰でも入れるようになると子どもたちの安全がそこなわれるのではないか

例2: 先生などが帰宅してしまう夜間は利用できないのではないか

- 意見として出された「問題」を解決するために、**地域**で**できること**を出しあいましょう。

例1: 不審者がいないか自分たちでパトロールする

例2: 夜間などに利用する場合は、学校と連携して地域で鍵の管理をする

■意見交換での注意事項(お願い)

- 意見は必ず付箋にご記入ください。付箋に書かれていないと記録として残りません。
- 1枚の付箋に記入する意見は1つに。
- 限られた時間の中で全員が発言できるように、発言は手短かに。
- 他の参加者の発言をよく聴き、自分の考えを広げましょう。
- 互いを勇気づけ、意見を言いやすい雰囲気をつくりましょう。